

あらくさ

編集責任者：歌房哲也

〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷11584
生活介護事業所 あらくさ
 TEL 0847-67-3410 FAX 0847-67-3439
 E-mail arakusa@f2.dion.ne.jp
 〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷1215-1
就労継続支援B型事業所 夢工房なむの木
 TEL 0847-67-5051 FAX 0847-67-2080
 E-mail arakusa-nemunoki@r3.dion.ne.jp
地域活動支援センター ふらっと
 TEL 0847-67-5052 FAX 0847-67-2080
 E-mail arakusa-fl@r7.dion.ne.jp
あらくさホームページ <http://www.pionet.ne.jp/arakusa>



明けまして

おめでとーございます



社会福祉法人
あらくさ 理事長
寺田朱美

昨年（しんねん）の世相を表した漢字は「災」でした。各地で天災が相次ぎ、多くの方々の命が奪われること（い）の多い一年でした。ここ甲奴でも7月の豪雨時は床下浸水に遇われた家が何件かあったと聞いています。何かおこるかわからない時代となったようです。皆様におかれましてはどのように新年をお迎えでしょうか。

さて、あらくさが本郷の小高い丘の上に移転してすでに20年、いよいよ平成最後の時を迎え、今、通所利用者は約70名となりました。30年前には、もっと県北にも施設や作業所が増えるであろうと単純に考えていましたが、ほとんど施設は増えませんでした。そのため三次市でも一番南端のあらくさを希望される方々が相次ぎ、今、私たちはスペースの手狭さと、また、他の福祉分野と同様に職員の不足、そのために事業の拡大が難しいという課題に直面しています。

さて、昨年（しんねん）も障害者問題が連日のように新聞紙上を賑わせた年でした。不良な子孫の発生防止」を目的とした旧優生保護法（1948年～1996年廃止）による障害者の強制避妊、強断種手術の実態が法律廃止後22年経って初めて明らかになりました。中でも、本人の同意なしに手術された人が9歳の女の子も含めて16、475人にも上っていたといえます。また、大阪や兵庫では、精神障害のある子どもを親が現代の「座敷牢」とでも呼ぶようなコンテナに長年閉じ込めて死亡させたり、監禁罪で逮捕されるといふ事件もありました。

更に、一定の規模の会社に強制される障害者雇用率を率先して順守しなければならぬ国の中央省庁が、履行せず障害者でもない人を障害があると見立てて数合わせをしていたという、いわゆる「水増し雇用事件」も明るみにできました。ここ数年障害者に関する話題に事欠かないことが、いいことなのか、悪い事なのか・・・問題が発覚した後は、障害があっても他の市民と同等の権利を持つに「一歩でも近くなるような社会体制であることを願うばかりです。

さて、今年（ことし）はイノシシの年、猪突突進？に消費税は10%に上がり、軍事費予算は過去最大の5、2兆円を超え、同時に、国と地方の借金は1、122兆円と、怖ろしいほど増えそうです。

これからの暮らしが不安ですが、私たちはゆっくり、元気にまい進したく頑張ります。どうか、今年もよろしく願いいたします。皆様にもどうか良き年でありますよう。



あらくさ

新しい利用者・職員を紹介します！

たけしげ ひかり
竹重 光さん
(ウイング班)
リサイクルや、清掃の仕事を
頑張りたいです！
よろしくお願いします！



くるまや ひろあき
車谷 洋明さん
(ウイング班)
町内から来ています！
これからもよろしくお願いま
す！



みずこし かおり
水越 香織さん (職員)
上下町から来ています！
利用者や地域の方の力に
なれるよう頑張りたいと
思います！



よろしくお願いします！

祝 成人！ おめでとうございます！

さしき ゆか
棧敷 友香さん
(りんどう班)
これからも元気に
がんばります！



いとう しょうた
伊藤 聖太さん
(ウイング班)
今後も笑顔でみんなと仲良く
仕事も楽しくがんばります！



亥年生まれのみなさん大集合！



えんどう さだこ
遠藤 貞子さん
(たんぽぽ班)
6回目の年女になりました
た！これからも体を大切に
がんばっていきます！



きよすみ こうすけ
清住 皓介さん
(ねむの木)
お弁当箱におかずをつめ
たり、食器洗いを頑張りたい
です！



たむら ちか
田村 智香さん
(たんぽぽ班)
作業や、家のことなどいろ
んなことにチャレンジして
いきたいです！



なかにし みつこ
中西 貢さん
(たんぽぽ班)
無理せず、ゆっくりと仕
事を頑張りたいです！



かねしげ なおみ
金重 直美さん
(職員)
猪突猛進でがんばりますの
で、これからもよろしくお願
いします！



そね しゅんいち
曾根 俊一さん
(りんどう班)
これからも、あらくさで
がんばりたいです！



あらかき ようこ
荒木 陽子さん (ウイング班)
毎日を大切に過ごしていきたいです！



(担当:川辺 松川)

障害のある人たちの「暮らす」を考える

毎日の暮らしの中で

私たちは、毎日の暮らしの中で、様々な「願い」や「憧れ」を抱いて、自分らしく生きていくために未来を想像し、その実現に向けて歩んでいます。それは、障害のある人も同じです。

障害のある人は、福祉サービスの利用で、作業や活動は最低限保障されてきました。その中で、働くことの喜びや、自分以外の人を意識する関係性を育んできました。

しかし、障害があるが故に、経験や体験を重ねる機会が少なく、「どんな暮らしがしたいですか」と聞いても、「自分の暮らし」を想像することが難しい人が多いのです。

「暮らしの場」と「支援の手」

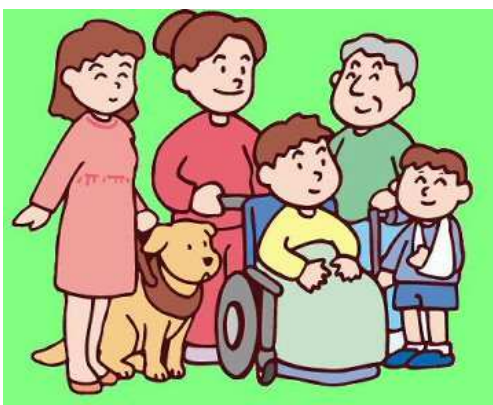
障害のある人の大半が、家族と同居、グループホーム及び入所施設等で暮らしています。家族との同居については、本人と家族が希望している場合もあります。しかし、一人暮らしがしたくても、障害基礎年金2級（月に約66,000円）と福祉的就労で得たわずかな工賃で、生活費（家賃、食費、水光熱費等）、医療費、福祉サービス料等を支払うことは困難です。また、グループホーム等は事業所が不足しており、希望してもなかなか入居できないのが現状です。

障害のある人の生活は、福祉サービスの利用が必然的になってきます。その福祉サービスも作業や日中活動をはじめ、在宅支援、余暇活動支援等と多岐にわたります。作業や日中活動の場は、以前に比べると事業所が増え、そこに多様な障害がある人たちが通所できるようになりました。一方、在宅生活を支えるホームヘルパーや、余暇活動（外出）を支えるガイドヘルパーは、利用希望者を受け入れるだけの事業所が不足しているだけでなく、利用したくても、制度がニーズに沿ったものではないがために、利用できない人たちも多くなります。

自分の未来の生活を想像するためには、さまざまなことを経験し体験することが最も大切なことです。それらの機会を保障されることが、豊かな地域生活の実現に繋がっていくのだと思います。

住み慣れた地域の一員として

障害のある人が、「安心できる暮らし」・「選べる暮らし」を実現していくためには、沢山の楽しい経験や体験を通して、暮らしや余暇活動の選択肢を増やしていくことが必要です。又、当事者や家族・関係者の努力だけで支えていくのではなく、国も公的支援を充実させ、啓発活動や施策、障害基礎年金等の所得保障を通して、支えていく必要があります。

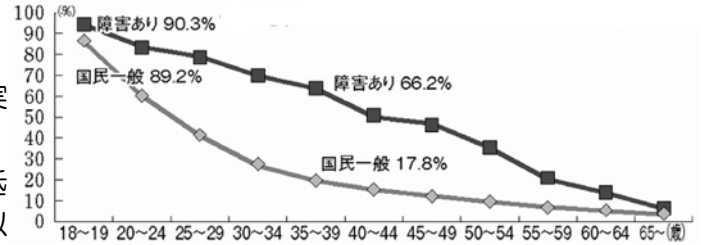


障害があっても、住み慣れた地域の一員として、周囲の人たちと関わりながら暮らし続けていくことは、障害のある人たちにとって、生活の質を支える重要な要素なのです。障害の有無に関わらず、ともに暮らす一員として支えあっていく地域づくりは、いつか支援が必要な立場になったとき、この地域で暮らし続けていける、という安心につながるはずです。

「住み慣れた地域の一員として暮らしたい」というのは、特別な願いでは無いはずです。たとえ、障害があっても同年齢の人と同じ生活が選べる社会こそ、誰もが暮らしやすい社会といえるのではないのでしょうか。

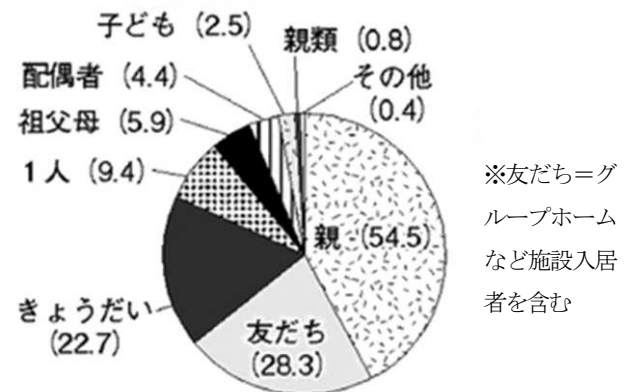
(担当：秋山)

それぞれの年代で、親と同居している人の割合比較



(2015年 きょうされん調べ)

障害のある人が誰と暮らしているかの割合比較



※友だち=グループホームなど施設入居者を含む

(2015年 きょうされん調べ)

いただきました (H30年9月1日~H30年12月31日まで)

金一封ご寄付

(順不同)

自然を見守る会様 風呂節子様 高橋一夫様 神石高原町民生委員児童委員協議会様
神石高原町民生委員児童委員協議会油木支部様 井原公子様 中山美代子様 山本勇様 寺田朱美様
あらくさ友の会様 高杉美津江様 竹田夏子様 渡部剛介様 匿名様



野菜・食品・物品等のご寄付

(順不同)

水越美智子様 桑島司香様 世羅幸水農園様 岡田武子様 落畑和則様 藤原貢様 藤原靖栄様 荒木陽子様
佐々木千里様 道々清子様 風呂節子様 梶川りんご園様 大竹ヒロ工様 寺田朱美様 宇賀振興協議会様
真田マツ子様 伊達義悟様 竹田夏子様 飯田董美様 社会福祉法人優輝福祉会様 西本賢次様 竹下猛虎様
特定非営利法人希望のいりぐち様 国本幸雄様 貞谷保貴様 畠田正男様 斉藤真理子様 小林道子様
宇賀みちくさの里様 落畑さとみ様 長谷川正伸様 佐々木由美様 藤岡泉様 匿名様

ボランティア

(順不同)

末藤朱美様 井上由紀様 高島朋子様 竹内悦子様 あらくさ友の会様 あらくさ家族会様

いただいた食材は給食等に使用させていただきました。この他にも、アルミ缶・紙等の資源回収にご協力いただきました。ありがとうございました。記載もれがありましたら、どうかお許しください。



職場体験の受け入れをしました。

10月3日・10日・17日の3日間、小童小学校5年生と6年生合わせて7名の職場体験を受け入れました。皆さん、始めは戸惑い緊張していましたが、次第に緊張も解れ、利用者と一緒に頑張って作業をしていました。



お疲れ様でした。



大山百合香さん音楽会 ~ あらくさ家族会 秋の行事 ~



去る9月29日(土)、沖永良部島出身で現在三次市在住の歌手、大山百合香さんをお迎えし、和やかな時間を過ごしました。三次をテーマにした「みよしうた」「変わらないもの~さとやま~」は、郷土の景色が目浮かび、三次盆地に南の風が吹きわたるようでした。南国独特の節回しに合わせ、一緒にカチャーシーを踊りながら、音楽会を楽しみました。



助成金をいただきました!



11月30日(金)、生活協同組合ひろしま(生協ひろしま)様より、『障がい者団体活動支援助成金』をいただきました。助成金は、利用者工賃の向上と利用者支援の為に備品購入に活用させていただきます。

ありがとうございました!

(担当:前中 岡田)